

登園許可書

保育所施設長殿

入所児童氏名

病名「

」

年 月 日から症状も回復し、集団生活に支障がない状態になったので登園許可と判断します。

年 月 日

医療機関

医師名

印またはサイン

新小岩さくら保育園

○医師が記入した意見書が望ましい感染症

保育所は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発症や流行をできるだけ防ぐことで、一人一人の子どもが一日快適に生活できるよう、下記の感染症について意見書の提出をお願いします。

感染力のある期間に配慮し、子どもの健康回復状態が集団での保育所生活が可能な状態となってからの登園であるようご配慮ください。

感染症	感染しやすい期間	登園のめやす
麻疹（はしか）	発症 1 日前から発疹出現後の 4 日後まで	解熱後 3 日を経過してから
インフルエンザ	症状がある期間（発症前 2 4 時間から発病後 3 日程度までが最も感染力が強い）	発症した後 5 日を経過し、かつ解熱した後 3 日を経過するまで
風しん	発しん出現の前 7 日から後 7 日くらい	発しんが消失してから
水痘（みずぼうそう）	発しん出現 1～2 日前から痂皮形成まで	すべての発しんが痂皮化してから
流行性耳下腺炎 （おたふくかぜ）	発症 3 日前から耳下腺腫脹後 4 日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから 5 日を経過するまで、かつ全身状態が良好になるまで
咽頭結膜熱（プール熱）	発熱、充血等症状が出現した数日間	主な症状が消え 2 日経過してから
流行性角結膜炎	充血、目やに等症状が出現した数日間	感染力が非常に強いいため結膜炎の症状が消失してから
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後 3 週間を経過するまで	特有の咳が消失するまで又は 5 日間の適正な抗菌性物質製剤による治療を終了するまで
腸管出血性大腸菌感染 （O157,O26,O111 等）		症状が始まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48 時間をあけて連続 2 回の検便によって、いずれも菌陰性が確認されたもの
急性出血性結膜炎	ウイルスが呼吸器から 1～2 週間、便から数週間～数ヶ月排出される	医師により感染の恐れがないと認めるまで
髄膜炎菌性髄膜炎		医師により感染の恐れがないと認めるまで
結核		医師により感染の恐れがないと認めるまで
ヘルパンギーナ		発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
手足口病		発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
感染性胃腸炎		嘔吐・下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること
伝染性紅斑（りんご病）		全身状態が良いこと
溶連菌感染症		抗菌薬内服後 24～48 時間経過していること
マイコプラズマ肺炎		発熱や激しい咳が治まっていること
RS ウイルス感染症		呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと
突発性発しん		解熱し機嫌が良く全身状態が良いこと

家族に感染症が発生した場合は、すみやかにお知らせください

新小岩さくら保育園